

公表

事業所における自己評価総括表 (児童発達支援)

○事業所名	チャイルドハート青崎		
○保護者評価実施期間	2024年 9月 1日		～ 2024年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	2024年 9月 1日		～ 2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○戸外活動が多く、公園遊びやプール遊び等、身体を動かして遊ぶことを子ども達と一緒に職員も楽しみながら、感覚統合を意識した支援をしている	○専門的支援の実施が始まり、1人1人の特性や発達に応じた専門的支援計画を作成し、身体の動かし方や、力の加減、気持ちの切り替え方等、個別活動・集団活動の中で、意識して支援を行っている	○子ども達がやってみたいこと等を聞いて、それを計画に取り入れる等、子ども達の「やってみたい!」「行ってみたい!」「挑戦したい!」という気持ちを大切に、成長・発達を意識した活動を提供する
2	○買い物や外出、クッキング、レクリエーション等の様々な活動や体験を通して、ライフスキル、ソーシャルスキルの向上が望める	○地域のお祭りや、育成クラブさんとの合同活動等の地域交流や、映画鑑賞やボーリング、買い物やクッキング等を通して、ライフスキル、ソーシャルスキルの獲得を目指した行事を計画している	○お子さんが楽しみながら年齢に沿った成長・発達・スキルの獲得が出来るように、様々な体験・行事を計画していく
3	○保護者さんとのモニタリングやアセスメント、相談対応(家族支援)や、保護者の方との交流を大切にしており、一緒に子育て・療育をしていく気持ちで対応させてもらっている	○保護者さんにもお祭りやクッキング、戸外活動(鬼ごっこや縄跳び)に参加してもらい、お子さんの日頃の様子や成長した姿を見て頂いたり、保護者さん同士の交流の場となるようにしたり等、保護者さん参加型の行事を実施している	○これからも、保護者さん同士の交流の場や、意見交換会等が実施出来るようにしていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○地域の方を事業所に招待するような行事を実施したことがない	○事業所の建物が小さい為、多くの人に来て頂けるような環境がない	○地域のイベントに参加させて頂いたり、育成クラブさんとの合同活動を行う等、事業所に招くことが難しい分、地域の方と交流出来る場に参加をする
2	○同法人内に児童発達支援と放課後等デイサービスはあるが、成人してから移行出来る就労支援事業所がない	○フランチャイズの事業所で、チャイルドハートは児童発達支援と放課後等デイサービスの運営しかしていない	○就労支援事業所とのつながりや交流、職場体験が出来る場の提供等、成人後社会に出る為の支援の充実を図る
3	○第三者評価の実施がない	○チャイルドハート本部のスーパーバイザーによる事業所評価があり、運営についての指導をもらっているため、第三者評価の実施はしていない	○必要であれば、第三者評価の実施も検討していく

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	チャイルドハート青崎		
○保護者評価実施期間	2024年 1月 1日		～ 2024年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2024年 4月 1日		～ 2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 8日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○戸外活動が多く、公園遊びやプール遊び等、身体を動かして遊ぶことを子ども達と一緒に職員も楽しみながら、感覚統合を意識した支援をしている	○専門的支援の実施が始まり、1人1人の特性や発達に応じた専門的支援計画を作成し、身体の動かし方や、力の加減、気持ちの切り替え方等、個別活動・集団活動の中で、意識して支援を行っている	○子ども達がやってみたいこと等を聞いて、それを計画に取り入れる等、子ども達の「やってみたい!」「行ってみたい!」「挑戦したい!」という気持ちを大切に、成長・発達を意識した活動を提供する
2	○買い物や外出、クッキング、レクリエーション等の様々な活動や体験を通して、ライフスキル、ソーシャルスキルの向上が望める	○地域のお祭りや、育成クラブさんとの合同活動等の地域交流や、映画鑑賞やボーリング、買い物やクッキング等を通して、ライフスキル、ソーシャルスキルの獲得を目指した行事を計画している	○お子さんが楽しみながら年齢に沿った成長・発達・スキルの獲得が出来るように、様々な体験・行事を計画していく
3	○保護者さんとのモニタリングやアセスメント、相談対応(家族支援)や、保護者の方との交流を大切にしており、一緒に子育て・療育をしていく気持ちで対応させてもらっている	○保護者さんにもお祭りやクッキング、戸外活動(鬼ごっこや縄跳び)に参加してもらい、お子さんの日頃の様子や成長した姿を見て頂いたり、保護者さん同士の交流の場となるようにしたり等、保護者さん参加型の行事を実施している	○これからも、保護者さん同士の交流の場や、意見交換会等が実施出来るようにしていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○地域の方を事業所に招待するような行事を実施したことがない	○事業所の建物が小さい為。多くの人に来て頂けるような環境がない	○地域のイベントに参加させて頂いたり、育成クラブさんとの合同活動を行う等、事業所に招くことが難しい分、地域の方と交流出来る場に参加をする
2	○同法人内に児童発達支援と放課後等デイサービスはあるが、成人してから移行出来る就労支援事業所がない	○フランチャイズの事業所で、チャイルドハートは児童発達支援と放課後等デイサービスの運営しかしていない	○就労支援事業所とのつながりや交流、職場体験が出来る場の提供等、成人後社会に出る為の支援の充実を図る
3	○第三者評価の実施がない	○チャイルドハート本部のスーパーバイザーによる事業所評価があり、運営についての指導をもらっているため、第三者評価の実施はしていない	○必要であれば、第三者評価の実施も検討していく

公表	事業所における自己評価結果 (児童発達支援)
----	------------------------

事業所名	チャイルドハート青崎				公表日	2025年 2月 15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	学習室とプレイルーム(発達支援室)がわかれており、学習と運動を分けて活動が出来ます。	お子さんが1人になれる個室がない為、廊下の端に机と椅子を用意して、そこでカムダウンが出来るようにしていますが、落ち着ける空間作りを工夫したいと思います。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	作業療法士、保育士、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士等の有資格者である職員が7名在籍しており、10人の利用定員に対して5~8名の職員で毎日支援に当たっています。	お子さんの成長に合わせて、少ない職員数でも対応出来るように、職員のスキルの向上を目指します。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	玄関に段差はありますがそこで座って靴の脱ぎ履きをしています。室内に段差はありません。広いトイレがあり、職員と一緒に介助に入っても狭さを感じません。名前をひらがなで表示し、自分の場所に荷物を片付けられる様工夫しています。又、文字だけでなく、絵や写真カードを用いて一日の活動スケジュールを伝えるようにしています。	どの年齢のお子さんにも、物の場所やスケジュールがわかりやすいように配慮した表記を工夫したいと思います。段差について、児童が怪我をした等の事例はないですが、今後も怪我をしないように子ども達にも危険箇所を知らせ、安全に過ごせる様に努めたいと思います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	プレイルームや学習室は、安全な次亜塩素酸水を使って除菌を行ない、利用後は室内、トイレ、車中も除菌、清掃を行なっています。又、玩具等は棚や倉庫に収納しており、使用する際に出すようにして、空間を広く使えるように配慮しています。	倉庫内の収納を整備して、お子さんが必要な物を自分で出し入れが出来るようにして、物の管理も自分で出来るようにしていきたいと思っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	4	個別の部屋はありませんが、学習室とプレイルームが分かれておりますので、必要に応じてお子さんが自分で移動出来るようにしています。又、カムダウンしたい時や、宿題に集中したい時は、相談室や、廊下の隅の壁に囲まれた場所に学習机を置いており、お子さんが自分で選択して、その場所を使用出来るようにしています。	必要に応じて、相談室や廊下の机で過ごせるようにしておりますが、お子さんが安心出来る場所作りを検討していきたいと思っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	事業所の指針を定め、朝礼で唱和しています。又、お子さん1人ひとりの支援目標を全職員が把握した上で支援を行っており、終礼時と記録の際に振り返りを行なっています。	終礼時のミーティングで支援内容について共通認識を持てるように情報共有をしております。引き続き、職員が高い意識を持って、一人ひとりのお子さんに合った支援を行ってきたいと思います。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	毎年保護者の方から保護者評価アンケートを頂き、その内容を踏まえ、支援の振り返りや改善点の確認を行なっています。	保護者さんから頂いたご意見を参考に、保護者さんやお子さんのニーズに答えられるよう、職員で検討して参ります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	職員会議や日々の朝礼、終礼のミーティングで職員同士の意見を出し合い、それぞれの考えを伝え合うようにしています。	日頃から、職員ミーティングを大切にしておりますが、職員同士お互いに高め合い、質の高い支援が行えるよう努力して参ります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4	第三者評価を外部機関にお願いはしてませんが、毎年チャイルドハートFC本部に外部評価をしてもらい、課題を把握し改善に努めています。	チャイルドハート本部のSVによる事業所評価を外部評価だったと思っている職員がいたので説明を行いました。今後、必要に応じて、第三者による外部評価を行っていくか検討してまいります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	チャイルドハートFC本部が主催する、学習支援や感覚統合、身体の発達についてや、虐待防止等の様々な研修に参加し、支援の向上や職員の資質向上に努めています。又、大分県や大分市が主催する研修にも積極的に参加しています。	今年度から、大分市にあるチャイルドハート5事業所の職員で集まり、合同研修会を行っており、支援内容の事例検討や就労移行についての学習会等を実施しました。今後も継続し職員間で学びたいことを出し合いながら、様々な研修を行い、職員同士でスキルの向上を目指します。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	分かりやすいようにイラストを用いて作成しており、保護者さんには作成後お知らせし、事業所に掲示とHP上にも掲載しております。	1枚で作成してあるので、わかりにくい部分の補足は口頭で説明させて頂いておりますが、わかりやすいよう又追加でプログラムを作成していくことを検討中です。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	アセスメントシートを用いて、保護者さんにアセスメントを行ない、ニーズの整理表を使ってニーズを整理し分析した後に計画案を作成しています。その後、計画案の内容に同意を頂き、職員でカンファレンスをして、支援目標についての検討を行ない支援計画を作成しています。	お子さんへのニーズの聞き取りは、口頭で聞き、計画内容について説明をしてから同意をもらっていますが、お子さんの年齢に沿って、いずれはモニタリング会議にも参加してもらい、自分自身の課題や目標と一緒に検討していけるようにしていきたいと思っています。	

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	計画書の作成時に個別支援会議を行い、計画内容の検討をしています。又、計画書作成後職員でカンファレンス会議を行い、計画内容について検討し、理解を深め、共通認識が持てるようにしています。	児童発達支援管理責任者基礎研修を終えたOJT期間中の職員にも、計画書の作成やモニタリング会議に参加してもらっており、今後こどもの支援に関わる職員みんなで検討して計画作成を行います。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	支援計画内容の内容はカンファレンスにて職員間で共有し、計画に沿った支援を行い、支援の振り返りの内容を記録しております。	今後も職員間で支援内容と目標を共有し、子どもの成長や発達に合った支援を行えるようにして参ります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	チャイルドハートで作成したアセスメントシートを使用し、前回のアセスメントの記録も振り返りながら現在の様子と比較検討し、課題が見出せるようにしています。又、日々の支援記録とは別に終礼時に行う情報共有の内容は特記事項として記録し、計画書の作成時に活用しています。	今後も適切なアセスメントが出来るように、アセスメントツールの内容を検討して参ります。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	ガイドラインに沿って、「本人支援」の5領域と「家族支援」「移行支援」「地域支援」の項目に分け、お子さんの発達段階やご家族を取り巻く環境に合わせて計画を作成し、なるべく具体的な目標設定や支援内容を記入するように心がけています。	これからも、保護者さんやお子さんにわかりやすく、一人ひとりの発達段階に合った目標、課題を詳しく設定された支援計画を作成していけるようにしていきたいと思います。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	季節や天気、子どもの成長に沿って活動内容を工夫し、色々なことに挑戦出来るように活動プログラムを職員みんなで検討しながら立案しています。	今年度より、専門的支援の実施が始まりましたので、職員間で意見を出し合いながら、専門性が高く、子ども達の心身の発達や感覚統合を意識した活動を計画していきたいと思っています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	季節を感じられる行事や、色々な感覚統合遊び、集団活動、運動療育、コグトレ(学習支援)、ライフスキルトレーニングを取り入れています。	お子さんのやりたい！やってみたい！という気持ちを大切に、ニーズを聞き取り、活動に取り入れられるように工夫していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	1人ひとりの課題や強みに応じて、集団活動や個別活動を取り入れ、支援目標に沿った療育を行なえる様に支援計画を作成しています。	支援計画を基に、お子さんの課題に沿った個別活動と集団活動を実施し、お子さんが楽しみながら成長していけるよう支援していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	その日リーダーが職員の役割分担を行ない、朝礼時に全職員で確認を行なっています。	これからも、チームで連携して支援することを大切にしていきたいと思っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	終礼で児童1名ずつ、その日の様子や支援内容の振り返り、気づいた点等を職員間で共有しています。又、その日休んでいた職員にも情報伝達出来るように、業務日誌や個別支援記録で情報共有を行っています。	引き続き、終礼時のミーティングで支援内容についての情報共有を行い、お子さんの小さな変化にも気づき、職員間で共通認識を持って支援出来るようにしていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	毎日支援目標に沿った記録を実施し、終礼時や個別支援会議にて、支援内容について改善点の検討を行ない、改善するようにしています。	支援計画に沿った振り返りの記録の内容を振り返る機会のない職員もいるので、個別支援会議の際に職員みんなで振り返りを行い、支援記録の書き方のスキルアップと支援の検証・改善につなげていきたいと思っています。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	保護者さんに意向をお伺いした上で、3ヶ月から半年に1回モニタリングを行ない、保護者さんやお子さんのニーズを元に、計画の見直しを行うようにしています。	これからも、お子さんの情緒面や、通園先・ご家庭での状況等により、保護者さまの意向をお伺いしてモニタリングの時期を設定していくようにします。	
関係機関	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	事前に職員に子どもの様子を確認して「子ども理解シート」を作成し、日頃の様子や成長した所、課題点等を整理した上で、管理者又は児発管が主に出席していますが、可能な限り、保育士や児童指導員等、対象の児童に精通し、理解の深い職員が参加出来る様にしています。	担当者会議がお子さんの利用時間に開催されることが多い為、児発管または管理者が参加させてもらうことが多いので、今後OJT期間の職員を中心に、担当者会議に参加してもらえるようにしていきたいと思っています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	関りのある社会資源の関係機関の方々とは、ケース会議を行ったり、お電話にて情報共有を行う等して連携させてもらっています。	医療関係者さんとの連携をする機会がない為、今後、連携が取れるように検討していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	8	利用しているお子さんのメインが放課後デイのお子さんであるため、未就学児のお子さんは卒園前に放課後デイへの移行を踏まえた受け入れをしており、すでに園に通園されている方が多いので、園への移行を踏まえた支援はしていませんが、インクルージョンを意識した取り組みとして、地域の育成クラブさんとの交流を行っております。	インクルージョン推進を意識した取り組みを、今後も実施していけるよう、計画していきます。
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	入学後、小学校の先生に渡せるように「つながりファイル」や「子ども理解シート」を作成して児童発達時の様子をお知らせ出来るようにしています。	保護者さんと相談し、学校の先生方との情報共有の希望があれば、相談支援専門員さんにもご協力頂き、ケース会議を行います。	

関 や 保 護 者 と の 連 携	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	8	実施なし	地域の児童発達支援センターさんとの連携を行う機会は、今までにないですが、今後スーパーバイズや助言を頂ける機会を検討していきたいと思います。
保 護 者 へ の 説 明 等	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	8	公園等の公共の場所に出かけ、地域の方とふれあう活動を取り入れています。	子ども園、幼稚園との交流を持つ機会はないので、今後実施していけるよう検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	連絡帳にてその日の活動の詳細や成長の様子を記入したり、送迎時にご家庭での様子を伺ったり、チャイルドでの様子をお伝えしています。	これからも保護者さんとの連携を大切にし、わかりやすい情報伝達が出来るようにご掛け、発達状況や課題について、共通理解出来るようにしていきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	6	保護者さんからご相談があった際に、困りや悩みを伺い、子どもへの接し方や対応方法についての助言や、ペアレントトレーニングが出来る社会資源の利用の提案を行なっております。	今後、保護者会で保護者さん同士の意見交換会や、外部講師を呼んで保護者向けの研修等を行い、ご家族の対応力の向上を図る為の取り組みを計画していきたいと思います。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	運営規程、利用者負担については契約時になるべくわかりやすく丁寧に説明する様になっています。支援プログラムは今年度作成しましたので、モニタリングに来て頂いた際にご説明させて頂いております。	支援プログラムについて、よりわかりやすくする為に、保護者さんにご意見を頂き、職員間で検討を行う等して、補足事項の追加が出来るようにしていきたいと思います。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	モニタリングの際に保護者さんからの意向を伺い、お子さんにはやってみたいことや出来るようになりたいことを伺った上で、計画作成をしています。	お子さんの意向がはっきりとわからない時は、保護者さん中心のニーズになってしまいがちなので、本人の意向を確認した上で計画が立てられるようにしたいと思います。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	児童発達支援計画を見て頂きながら、口頭で支援内容についての説明をさせて頂き保護者さんとお子さんにも同意のサインを頂いています。	今後もお子さんと保護者さんの意向を取り入れ、同意して頂いた上で支援をおこなってきたいと思っています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	モニタリング後にご相談があればその都度相談支援を行なうようにしています。それ以外でご相談がある際には、お電話又は事業所やご自宅にて相談支援を行っております。	保護者さんと一緒に子育て・療育をさせて頂いている気持ちで、保護者さんのお話を傾聴し共感しながら、適切な助言が行えるようにしていきたいと思っています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	今年度は秋祭りやクッキング、外遊び活動に、保護者さんときょうだい児さんも一緒に参加して頂く行事を行いました。「保護者の方同士の交流になった」「きょうだい児さんも楽しかった、また行きたいと言っていた」等のご感想をいただき好評でしたので、定期的に開催させて頂きたいと思います。	今後も保護者さん同士、きょうだい児さん同士の交流の場となるよう、定期的に保護者さんやきょうだい児さんも一緒に参加して頂ける行事を企画していきたいと思っています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	お子さんには、「何か困ったことがあった時は言ってね」と伝えており、何か伝えたらその時は声掛けさせて頂いております。保護者さんにも契約の際、「気になることやご相談がありましたら、いつでもお電話やSNS、連絡帳にてご相談ください。又事業所に来て頂くかご自宅に伺って相談対応させて頂くことも出来ます」とお伝えさせて頂いております。	支援時間中はなかなか相談対応をする時間を設けるのが難しいので、お子さんがいない時間に相談対応の時間が設けられるよう保護者さんと相談し工夫してまいります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	長期休み中の行事予定をお手紙やSNS、ハートリンク(通所管理ソフト)を活用してお知らせしたり、イベントの詳細はプリントをその都度配布しています。又、毎月のおたよりやHPのブログ、SNS等で日頃の活動の様子をお知らせしています。	今年度は、保護者の方々にご協力頂き、ハートリンク(通所管理ソフト)を導入させて頂き、連絡帳や利用予定もこちらで記入して頂くようになりました。一斉連絡は他のSNSを使用して連絡させて頂いておりましたが、今後はハートリンクからの送信が出来るようになりましたので、なるべく1本化していきたいと思っています。

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	個人情報の取り扱い規約を職員入社時に説明し、資料の持ち出しや情報を外部へ口外しない事の周知を徹底しています。ブログの写真は顔を隠した状態で掲載し、顔写真の載ったおたよりは、利用されているご家庭へのみ配布しています。個人のファイルや記録等は鍵付きの倉庫に保管しております。	個人情報の取り扱いについて、新しい職員にもその都度説明し、厳重に管理していけるように心掛けます。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	意思疎通の確認は、声掛けのみでなく、写真・絵カードやジェスチャー等、1人ひとりに合った確認しやすい方法で行っています。保護者の方には、おたよりは別に、イベントごとに手紙を配布し、わかりやすく詳細をお知らせする様にしています。	保護者さんにも日頃からわかりやすい説明を心掛けます。又、発語のないお子さんのとの意思の疎通や情報伝達は、必要に応じてその都度絵カードや写真カードを追加していく等工夫して参ります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	8	地域の方を招待するような行事は実施したことがありませんが、地域で行われたお祭りに参加して、地域の方と交流させて頂きました。	事業所の行事に地域の方々を招待されている事業所さんの取り組みを参考にして、今後実施していけるように検討して参ります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	各種マニュアルを作成し、2ヶ月に1回それぞれ、火災・地震・津波・水害・防犯の発生を想定した訓練を実施し、消防署に協力をお願いした通報訓練も行っています。保護者さんにも訓練にご協力いただき、避難場所や連絡先の送信を行っております。	職員だけでなく、お子さんにも防災の意識を持って訓練に参加してもらえよう、わかりやすい説明と訓練を実施していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	BCPマニュアルは策定しましたが、BCPの訓練について、どのように行うか今検討中です。	年度内に、実際の災害を想定したBCP訓練が行えるように計画していきたいと思います。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	アセスメントの際にてんかんの有無や薬の服用、予防接種についての情報をお伺いしています。	途中で薬の服用が増えた、減った等の情報はモニタリングの際にお伺いしていますが、日頃から保護者さんに、変更があった場合はお知らせ頂くようお願いし連携していきます。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	アレルギー検査の結果を保護者さんから頂いた情報を基に、卵、アルコール、ハウスダスト、植物、動物等のアレルギーがある児童さん表を掲示し、全職員で気を付けて対応するよう心掛けています。	アレルギー症状が出た時に起こりえる症状を職員間で共有し、クッキングや外食の際には原材料の確認を行う等して気を付けていきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	安全計画を策定し、定期的に委員会や研修を行っております。	安全管理委員会や研修、訓練を基に、車両点検や環境管理等に留意し、安全に利用して頂けるよう心掛けます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	緊急時の連絡先や避難場所を契約時にお伝えし、計画・訓練を実施していることをお伝えしています。	安全計画の内容について詳細の説明はしていないので、今後随時お伝えしていくようにします。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	少しの事でもヒヤリハットとして記録を残し、対策について検討した上、全職員が記録を回覧するようにしています。	ヒヤリハットを活用し、事故を未然に防げるよう、職員間でお互い気を付け合い、安全に努めたいと思います。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	毎年チャイルドハート本部が主催する虐待防止研修に全職員が参加しております。	どういった行動や言動が虐待になってしまうということを職員が共通認識を持ち、適切な対応が出来るようになります。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	支援計画に記載し、都度保護者の方にも説明を行い、同意を頂くようにしています。	なるべく身体拘束をせずにカームダウン出来るよう、その都度対応について職員と検討して参ります。	

公表

事業所における自己評価結果 (放課後等デイサービス)

事業所名		チャイルドハート青崎		公表日		2025年 2月 15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	学習室とブレイルーム(発達支援室)がわかれており、学習と運動を分けて活動が出来ます。	お子さんが1人になれる個室がない為、廊下の端に机と椅子を用意して、そこでカムダウンが出来るようにしていますが、落ち着ける空間作りを工夫したいと思います。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	8	0	作業療法士、保育士、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士等の有資格者である職員が7名在籍しており、10人の利用定員に対して5~8名の職員で毎日支援に当たっています。	お子さんの成長に合わせて、少ない職員数でも対応出来るように、職員のスキルの向上を目指します。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	玄関に段差はありますがそこで座って靴の脱ぎ履きをしています。室内に段差はありません。広いトイレがあり、職員と一緒に介助に入っても狭さを感じません。名前をひらがなで表示し、自分の場所に荷物を片付けられる様工夫しています。又、文字だけでなく、絵や写真カードを用いて一日の活動スケジュールを伝えるようにしています。	どの年齢のお子さんにも、物の場所やスケジュールがわかりやすいように配慮した表記を工夫したいと思います。段差について、児童が怪我をした等の事例はないですが、今後も怪我をしないように子ども達にも危険箇所を知らせ、安全に過ごせる様に努めたいと思います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	ブレイルームや学習室は、安全な次亜塩素酸水を使って除菌を行ない、利用後は室内、トイレ、車中も除菌、清掃を行なっています。又、玩具等は棚や倉庫に収納しており、使用する際に出すようにして、空間を広く使えるように配慮しています。	倉庫内の収納を整備して、お子さんが必要な物を自分で出し入れが出来るようにして、物の管理も自分で出来るようにしていきたいと思っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	4	学習室とブレイルームが分かれており、必要に応じてお子さんが自分で移動出来るようにしています。又、カムダウンしたい時や、宿題に集中したい時は、相談室や、廊下の壁に囲まれた場所に学習机を置いており、お子さんが自分で選択して、その場所を使用出来るようにしています。	必要に応じて、相談室や廊下の机で過ごせるようにしておりますが、お子さんが安心出来る場所作りを検討していきたいと思っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか。	8	0	事業所の指針を定め、朝礼で唱和しています。又、お子さん1人ひとりの支援目標を全職員が把握した上で支援を行っており、終礼時と記録の際に振り返りを行っています。	終礼時のミーティングで支援内容について共通認識を持てるように情報共有をしております。引き続き、職員が高い意識を持って、一人ひとりのお子さんに合った支援を行っていききたいと思います。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	毎年保護者の方から保護者評価アンケートを頂き、その内容を踏まえ、支援の振り返りや改善点の確認を行っています。	保護者さんから頂いたご意見を参考に、保護者さんやお子さんのニーズに答えられるよう、職員で検討して参ります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	職員会議や日々の朝礼、終礼のミーティングで職員同士の意見を出し合い、それぞれの考えを伝え合うようにしています。	日頃から、職員ミーティングを大切にしておりますが、職員同士お互いに高め合い、質の高い支援が行えるよう努力して参ります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4	第三者評価を外部機関にお願いはしていませんが、毎年チャイルドハートFC本部に外部評価をもらい、課題を把握し改善に努めています。	チャイルドハート本部のSVによる事業所評価を外部評価だと思っている職員がいましたので説明を行いました。今後、必要に応じて、第三者による外部評価を行っていくか検討してまいります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	チャイルドハートFC本部が主催する、学習支援や感覚統合、身体の発達についてや、虐待防止等の様々な研修に参加し、支援の向上や職員の資質向上に努めています。又、大分県や大分市が主催する研修にも積極的に参加しています。	今年度から、大分市にあるチャイルドハート5事業所の職員で集まり、合同研修会を行っており、支援内容の事例検討や就労移行についての学習会等を実施しました。今後も継続し職員間で学びたいことを出し合いながら、様々な研修を行い、職員同士でスキルの向上を目指します。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	分かりやすいようにイラストを用いて作成しており、保護者さんには作成後お知らせし、事業所に掲示とHP上にも掲載しております。	1枚で作成してあるので、わかりにくい部分の補足は口頭で説明させて頂いておりますが、わかりやすいよう又追加でプログラムを作成していくことを検討中です。	

12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	アセスメントシートを用いて、保護者さんにアセスメントを行ない、ニーズの整理表を使ってニーズを整理し分析した後に計画案を作成しています。(児童発達支援の趣意を頂き、職員でカンファレンスをして、支援目標についての検討を行ない支援計画を作成しています。	お子さんへのニーズの聞き取りは、口頭で聞き、計画内容について説明をししてから同意をもらっていますが、お子さんの年齢に沿って、いずれはモニタリング会議にも参加してもらい、自分自身の課題や目標と一緒に検討していけるようにしていきたいと思っています。
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	計画案の作成時に個別支援会議を行い、計画内容の検討をしています。又、計画案作成後職員でカンファレンス会議を行い、計画内容について検討し、理解を深め、共通認識が持てるようにしています。	児童発達支援管理責任者基礎研修を終えたOJT期間中の職員にも、計画案の作成やモニタリング会議に参加してもらっており、今後も子どもの支援に関わる職員みんなで検討して計画作成を行います。
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	支援計画内容の内容はカンファレンスにて職員間で共有し、計画に沿った支援を行い、支援の振り返りの内容を記録しております。	今後も職員間で支援内容や目標を共有し、子どもの成長や発達に合った支援を行えるようにして参ります。
15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	チャイルドハートで作成したアセスメントシートを使用し、前回のアセスメントの記録も振り返りながら現在の様子と比較検討し、課題が見出せるようにしています。又、日々の支援記録とは別に終礼時に行う情報共有の内容は特記事項として記録し、計画案の作成時に活用しています。	今後も適切なアセスメントが出来るように、アセスメントツールの内容を検討して参ります。
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	ガイドラインに沿って、「本人支援」の5領域と「家族支援」「移行支援」「地域支援」の項目に分け、お子さんの発達段階やご家族を取り巻く環境に合わせて計画を作成し、なるべく具体的な目標設定や支援内容を記入するように心掛けています。	これからも、保護者さんやお子さんにわかりやすく、一人ひとりの発達段階に合った目標、課題を詳しく設定された支援計画を作成していけるようにしていきたいと思っています。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	季節や天気、子どもの成長に沿って活動内容を工夫し、色々なことに挑戦出来るように活動プログラムを職員みんなで検討しながら立案しています。	今年度より、専門的支援の実施が始まりましたので、職員間で意見を出し合いながら、専門性が高く、子ども達の心身の発達や感覚統合を意識した活動を計画していきたいと思えます。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	季節を感じられる行事や、色々な感覚統合遊び、集団活動、運動療育、コグトレ(学習支援)、ライフスキルトレーニングを取り入れています。	お子さんのやりたい! やってみたい! という気持ちを大切に、ニーズを聞き取り、活動に取り入れられるように工夫していきます。
19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	1人ひとりの課題や強みに応じて、集団活動や個別活動を取り入れ、支援目標に沿った療育を行なえる様に支援計画を作成しています。	支援計画を基に、お子さんの課題に沿った個別活動と集団活動を実施し、お子さんが楽しみながら成長していけるよう支援していきます。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	その日リーダーが職員の役割分担を行ない、朝礼時に全職員で確認を行なっています。	これからも、チームで連携して支援することを大切にしていきたいと思っています。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	終礼で児童1名ずつ、その日の様子や支援内容の振り返り、気づいた点等を職員間で共有しています。又、その日休んでいた職員にも情報伝達出来るように、業務日誌や個別支援記録で情報共有を行っています。	引き続き、終礼時のミーティングで支援内容についての情報共有を行い、お子さんの小さな変化にも気づき、職員間で共通認識を持って支援出来るようにしていきます。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	毎日支援目標に沿った記録を実施し、終礼時や個別支援会議にて、支援内容について改善点の検討を行ない、改善するようにしています。	支援計画に沿った振り返りの記録の内容を振り返る機会のない職員もいるので、個別支援会議の際に職員みんなで振り返りを行い、支援記録の書き方のスキルアップと支援の検証・改善につなげていきたいと思っています。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	保護者さんに意向をお伺いした上で、3ヶ月から半年に1回モニタリングを行ない、保護者さんやお子さんのニーズを元に、計画の見直しを行うようにしています。	これからも、お子さんの情緒面や、通学先・ご家庭での状況等により、保護者さまの意向をお伺いしてモニタリングの時期を設定していくようにします。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	5	ガイドラインの「4つの基本活動」について、職員全員には周知しておりませんでした。が、日頃の活動の中で、子どもたち主体の活動や、自由時間、学校でしている活動に挑戦する(跳び箱、縄跳び、短距離走)、遊びのルールを子ども同士で話し合う等の内容を、支援計画に取り入れ基本活動に沿った活動を提供しています。	職員で、新しいガイドラインの読み合わせを行い、「4つの基本活動」を意識した活動を取り入れるようにしていきます。
25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	3	お子さんが、自己選択・自己決定が出来るような提示や声掛けを行えるよう、職員間で意識しています。	事業所の都合やスケジュールの都合で、お子さんの選択に添えないこともあるので、選択出来るものと出来ないもののメリハリをつけながら、自己決定する力を養っていけるように支援します。

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	事前に職員に子どもの様子を確認して「子ども理解シート」を作成し、日頃の様子や成長した所、課題点等を整理した上で、管理者又は児発管が主に出席し、児童発達支援機能限り、保育士や児童指導員等、対象の児童に精通し、理解の深い職員が参加出来る様になっています。	担当者会議がお子さんの利用時間に開催されることが多い為、児発管または管理者が参加させてもらうことが多いので、今後のJ1期間の職員を中心に、担当者会議に参加してもらえようと思っています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	0	8	関りのある社会資源の関係機関の方々は、ケース会議を行ったり、お電話にて情報共有を行う等して連携させてもらっています。	医療関係者さんとの連携をする機会がない為、今後、連携が取れるように検討していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	学校から年間計画・行事予定等はメールやアプリでお知らせを頂くかHPで確認させてもらっています。又連携が必要なお子さんの担任の先生の連絡先を伺い、情報共有させて頂いています。	学校の先生方にはなるべくご迷惑をお掛けしない様に、行事等は下校時間のプリントやHPを見る等して確認したいと思います。緊急で学校へ連絡することは今年度はありませんでした。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0	放課後デイへ移行の前に担当者会議に参加させてもらい、幼稚園さんや児童発達支援事業所さんから移行の為の情報提供をもらっています。	今後もスムーズに学校や放課後デイへ移行できるように、他機関と連携していきたいと思っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	8	過去に対象の児童なし	今後、移行の対象のお子さんがある場合は、障害福祉サービス事業所等へスムーズに移行出来るように情報提供していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	8	実施なし	児童発達支援センターと連携を行う機会は、今までにないですが、今後スーパーバイズや助言を頂ける機会を持てるよう検討します。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	0	育成クラブさんと合同活動をしたり、地域のお祭りに参加して交流する機会がありました。	定期的に交流する場が提供出来るように計画していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	0	管理者や児発管が主に協議会主催の研修に参加しています。	他の職員も協議会主催の研修会等に参加出来るようにしていきたいと思っています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	連絡帳にてその日の活動の詳細や成長の様子を記入したり、送迎時にご家庭での様子を伺ったり、チャイルドでの様子をお伝えしています。	これからも保護者さんとの連携を大切に、わかりやすい情報伝達出来るように心掛け、発達状況や課題について、共通理解出来るようにしていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	6	保護者さんからご相談があった際に、困りや悩みを伺い、お子さんへの接し方や対応方法についての助言や、ペアレントトレーニングが出来る社会資源の利用の提案を行っております。	今後、保護者会で保護者さん同士の意見交換会や、外部講師を呼んで保護者向けの研修等を行い、ご家族の対応力の向上を図る為の取り組みを計画していきたいと思っています。
保	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	運営規程、利用者負担については契約時になるべくわかりやすく丁寧に説明する様にしています。支援プログラムは今年度作成しましたので、モニタリングに来て頂いた際にご説明させてもらっています。	支援プログラムについて、よりわかりやすくする為に、保護者さんにご意見を頂き、職員間で検討を行う等して、補足事項の追加が出来るようにしていきたいと思っています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	モニタリングの際に保護者さんからの意向を伺い、お子さんにはやってみたいことや出来るようになりたいことを伺った上で、計画作成をしています。	本人への聞き取りが少なく、保護者さんのニーズが反映されることが多い為、ご本人の最善の利益を優先し、ご本人の意思を確認しながら計画作成をしていきたいと思っています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	放課後等デイサービス計画を見て頂きながら、口頭で支援内容についての説明をさせてもらい保護者さんとお子さんにも同意のサインを頂いています。	今後もお子さんと保護者さんの意向を取り入れ、同意して頂いた上で支援をおこなってきたいと思っています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	モニタリング後にご相談があればその都度相談支援を行なうようにしています。それ以外でご相談がある際には、お電話又は事業所やご自宅にて相談支援を行っております。	保護者さんと一緒に子育て・療育をさせて頂いている気持ちで、保護者さんのお話を傾聴し共感しながら、適切な助言が行えるようにしていきたいと思っています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	今年度は秋祭りやクッキング、外遊び活動に、保護者さんときょうだい児さんも一緒に参加して頂く行事を行いました。「保護者の方同士の交流になった」「きょうだい児さんも楽しかった、また行きたいと言っていた」等のご感想をいただき好評でしたので、定期的に開催させて頂きたいと思っています。	今後も保護者さん同士、きょうだい児さん同士の交流の場となるよう、定期的に保護者さんやきょうだい児さんも一緒に参加して頂ける行事を企画していきたいと思っています。

護者への説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	お子さんには、「何か困ったことがあった時は言ってみてね」と伝えており、何か伝えたらそうなる時は声掛けさせてもらっています。保護者さんにも契約の際、「気になることやご相談がありましたら、いつでもお電話やSNS、連絡帳にてご相談ください。又事業所に来て頂くかご自宅に伺って相談対応させてもらうことも出来ます」とお伝えさせてもらい、その都度相談対応をさせてもらっています。	支援時間中はなかなか相談対応をする時間を設けるのが難しいので、お子さんがいない時間に相談対応の時間が設けられるよう保護者さんと相談し工夫してまいります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	長期休み中の行事予定をお手紙やSNS、ハートリンク(通所管理ソフト)を活用してお知らせしたり、イベントの詳細はプリントをその都度配布しています。又、毎月のおたよりやHPのブログ、SNS等で日頃の活動の様子をお知らせしています。	今年度は、保護者の方々にご協力頂き、ハートリンク(通所管理ソフト)を導入させていただき、連絡帳や利用予定もこちらで記入して頂くようになりました。一斉連絡は他のSNSを使用して連絡させて頂いておりましたが、今後はハートリンクからの送信が出来るようになりましたので、なるべく1本化していけるようにしていきたいと思っています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	個人情報の取り扱い規約を職員入社時に説明し、資料の持ち出しや情報を外部へ口外しない事の周知を徹底しています。ブログの写真は顔を隠した状態で掲載し、顔写真の載ったおたよりは、利用されているご家庭へのみ配布しています。個人のファイルや記録等は鍵付きの倉庫に保管しております。	個人情報の取り扱いについて、新しい職員にもその都度説明し、厳重に管理していけるように心掛けます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	意思疎通の確認は、声掛けのみでなく、写真・絵カードやジェスチャー等、1人ひとりに合った確認しやすい方法で行っています。保護者の方には、おたよりは別に、イベントごとに手紙を配布し、わかりやすく詳細をお知らせする様にしています。	保護者さんにも日頃からわかりやすい説明を心掛けます。又、発語のないお子さんとの意思の疎通や情報伝達は、必要に応じてその都度絵カードや写真カードを追加していく等工夫して参ります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	8	地域の方を招待するような行事は実施したことがありませんが、地域のお祭りに参加して、地域の方と交流させて頂きました。	事業所の行事に地域の方を招待されている事業所さんの取り組みを参考に、今後実施していけるように検討して参ります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	各種マニュアルを作成し、2ヶ月に1回それぞれ、火災・地震・津波・水害・防犯の発生を想定した訓練を実施し、消防署に協力をお願いした通報訓練も行っています。保護者さんにも訓練にご協力いただき、避難場所や連絡先の送信を行っております。	職員だけでなく、お子さんにも防災の意識を持って訓練に参加してもらえよう、わかりやすい説明と訓練を実施していきます。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	BCPマニュアルは策定しましたが、BCPの訓練について、どのように行うか今検討中です。	年度内に、実際の災害を想定したBCP訓練が行えるように計画していきたいと思っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	アセスメントの際にてんかんの有無や薬の服用、予防接種についての情報をお伺いしています。	途中で薬の服用が増えた、減った等の情報はモニタリングの際にお伺いしていますが、日頃から保護者さんに、変更があった場合はお知らせ頂くようお願いし連携していきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	保護者さんから頂いたアレルギー検査結果の情報を基に、卵、アルコール、ハウスダスト、植物、動物等のアレルギーがある児童さん表を掲示し、全職員で気を付けて対応するよう心掛けています。	アレルギー症状が出た時に起こりえる症状を職員間で共有し、クッキングや外食の際には原材料の確認を行う等して気を付けていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	安全計画を策定し、定期的に委員会や研修を行っております。	安全管理委員会や研修、訓練を基に、車両点検や環境管理等に留意し、安全に利用して頂けるよう心掛けます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	緊急時の連絡先や避難場所を契約時にお伝えし、計画・訓練を実施していることをお伝えしています。	安全計画の内容について詳細の説明はしていないので、今後随時お伝えしていくようにします。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	少しの事でもヒヤリハットとして記録を残し、対策について検討した上、全職員が記録を回覧するようになっています。	ヒヤリハットを活用し、事故を未然に防げるよう、職員間でお互い気を付け合い、安全に努めたいと思います。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	毎年チャイルドハート本部が主催する虐待防止研修に全職員が参加しております。	どういう行動や言動が虐待になってしまうということを職員が共通認識を持ち、適切な対応が出来るようにします。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	支援計画に記載し、都度保護者の方にも説明を行い、同意頂くようにしています。	なるべく身体拘束をせずにカムダウン出来るよう、その都度対応について職員と検討して参ります。